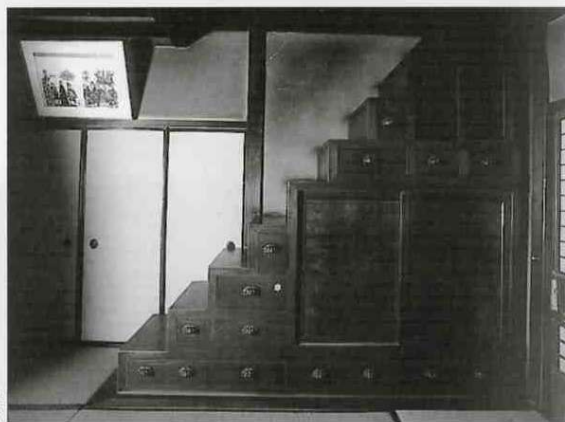




おもや おにゆら
主屋の鬼瓦



はこかいだん
箱階段



ちょうじ
帳場

ご案内

- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日(この日が休日の場合はその翌日)
祝日の翌日(土・日・祝日の場合は開館)
年末・年始(12月29日～1月3日)
- 入館料 一般 100円(80円)
小・中学生 50円(40円)
()内は20人以上の団体
※宇都宮市内の高校生以下の方は無料

交通のご案内

- 自家用車 鹿沼インターチェンジから約30分
(駐車場はありませんので近くの有料駐車場をご利用下さい)
- JR線・バス JR宇都宮駅下車
西口から徒歩3分



旧篠原家住宅

〒321-0966 宇都宮市今泉1丁目4-33
TEL・FAX 028-624-2200
(宇都宮市教育委員会 文化課)
(☎028-632-2764)

国指定重要文化財・宇都宮市指定文化財

旧篠原家住宅



宇都宮市教育委員会

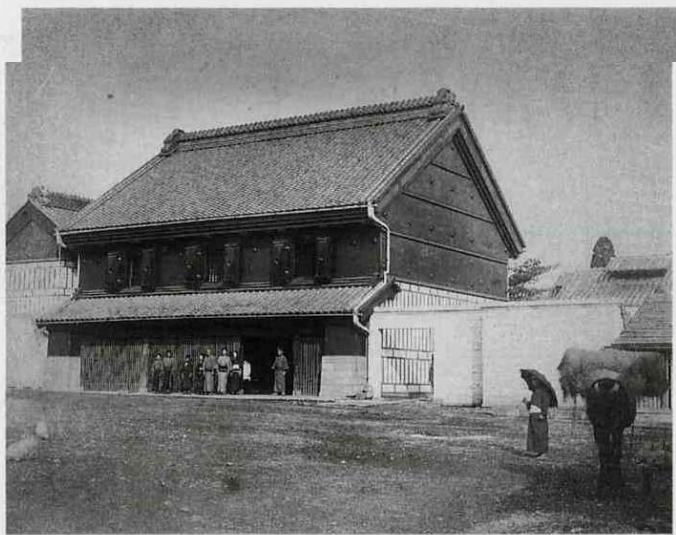
きゅうしのはらけじゅうたく
旧篠原家住宅

主屋・新蔵(附南北石塀) …… 国指定重要文化財・建造物
 文庫蔵・石蔵 …… 宇都宮市指定文化財 有形文化財・建造物

宇都宮市を代表する旧家の一つである篠原家は、江戸時代(18世紀の終わり頃)から奥州街道口の現在の場所で、醤油醸造業や肥料商を営んでおりました。現在の旧篠原家住宅は、明治28年(1895)に建てられたものです。第二次世界大戦の戦災により、主屋と石蔵3棟を残して、醤油醸造蔵や米蔵などの建物は焼失してしまいましたが、明治時代の豪商の姿を今日に伝える貴重な建造物となっています。

黒漆喰や大谷石を用いた外壁や、商家を特徴付ける店先の格子などとともに、1・2階合わせて100坪という規模の大きさが、堂々たる風格を形作り、JR宇都宮駅前の歴史的シンボルとなっています。

なお、この建物は、平成7年11月27日に宇都宮市の文化財に指定され、平成8年2月26日宇都宮市に寄贈されました。復元・修復工事を経て、平成9年3月1日から一般公開しました。平成12年5月25日に主屋と新蔵(附南北石塀)が、国の重要文化財に指定されました。



明治30年の旧篠原家住宅

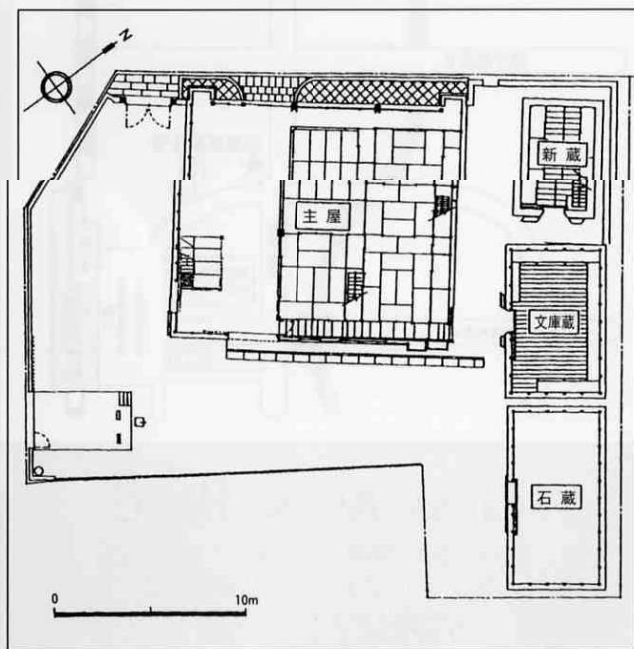
おもや いしぐら
主屋と石蔵

主屋 明治28年(1895)に2年の歳月と当時のお金で約3万円を費やして建てられました。1階は約52坪、2階は約48坪、合計で約100坪という非常に大きな建物で、良い材料をふんだんに用いています。この主屋と新蔵は、昭和39年(1964)に旧奥州街道の拡張により約7m曳き家をしました。

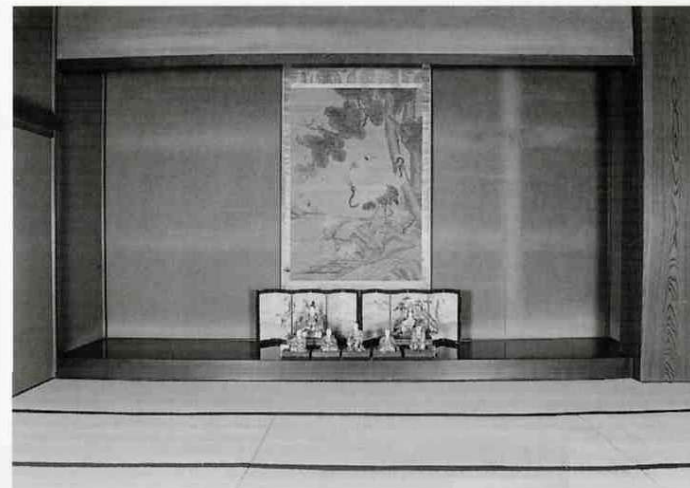
新蔵 この蔵は、主屋と同じ明治28年に建てられました。総2階建てで、1・2階とも6坪(約20㎡)あります。雛人形や古文書・着物など普段あまり使わないものを収納していました。

文庫蔵 この蔵は、嘉永4年(1851)に建てられました。総2階建てで、1・2階とも10坪(約33㎡)の広さです。この中には日常使うものを中心に収納していました。

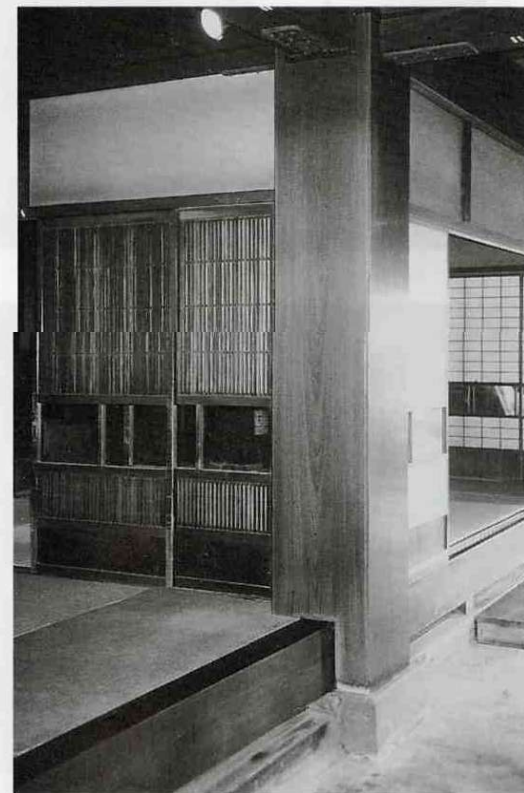
石蔵 この蔵はもともとは2階建てでありましたが、戦後吹き抜けに改造しました。面積は約12坪半(約41㎡)あり、醤油醸造に用いる道具などを入れていました。江戸時代の終わり頃に建てられたと考えられています。



建物配置図



2階座敷の床の間



1階帳場の大黒柱